

# Encyclopedia of Law and Economics. 3 vols.

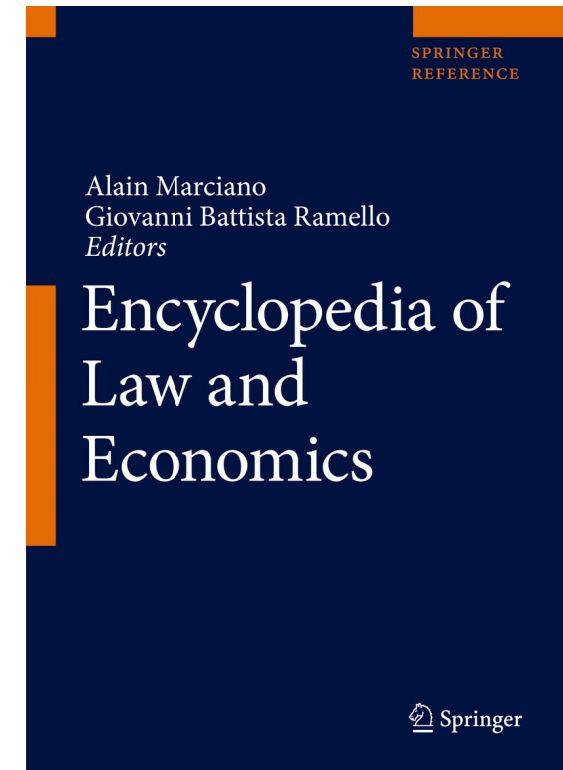
*Editors: Marciano, Alain, Ramello, Giovanni Battista (Eds.)*

## 本書の紹介

法と経済学 (Law and Economics) は、法律関係、法規定、法令への経済分析を扱い、経済学においては長い伝統を持つ研究分野の 1 つである。1933 年から 1938 年にかけてドイツの一流の経済学者が追放された後、この分野は影を潜めたが、その後シカゴで復活した。本書が法と経済学がテーマであることと、簡潔な百科事典への需要から、今日の欧州には最適な一冊となっている。

現在、欧州連合(EU)には、複数の異なる法文化、すなわち、アングロサクソン系の法的枠組、ドイツの法的枠組（これには例えばギリシャなども含まれる）、ローマ法のグループの 3 つの法域が存在し、これらの法域は同一の理論で扱われるべきである。EU の欧州委員会の責務が様々な欧州の法域との対話であることは、異なる法文化が協力し合い、ある程度の調和が必要なことを意味する。その結果、科学のためだけであっても、投げかけられた問題がそれぞれの法的伝統と法域でどのように解決されているかを示すことが早急に必要である。

分野における共通言語と正確な定義の両方を提供するこの百科事典は、EU 法の調和の際の誤解を避けるためにも将来役立つだろう。



2019 | XXXII, 2172 | 56 b/w illustrations, 90 illustrations in colour | ISBN 978-1-4614-7752-5

**販売代理店：極東書店**